

分泌制御分野では：

内分泌細胞 や 神経細胞 の生理機能を分子レベルで解明することで、
がん・糖尿病といった成人疾患の理解および克服を目指しています。

進行中の研究

① 病態における細胞死のしくみを解明する

私たちは疾病に関係している細胞死に着目し、
脳梗塞等における細胞死や鉄依存性の細胞死
フェロトーシス（右図）を解析しています。

(J Biol Chem 2010; Brain Res 2011)
(Biochem J 2016; New paper in revision)

② 分泌顆粒膜蛋白質の生理機能を解明する

分泌されたインスリンが膵β細胞の増殖を誘
導するオートクライン機構を解析しています。

(Review: Torii S., Endocr J 56:639, 2009)
(Diabetes 2009; JHC 2013; New paper in submission)

③ ペプチドホルモンの輸送、分泌、分解の機構解明

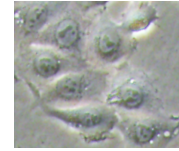
(Traffic 2011; PLoS One 2012; Traffic 2013; JHC 2015)

④ ケミカルバイオロジー（理工学府などとの共同研究）

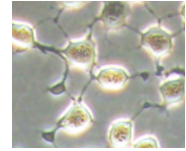
- * 活性酸素プローブの開発と生体内解析
- * 低酸素プローブを使用した生体解析
- * 脂肪酸プローブの開発と細胞内解析
- * 新規抗がん剤の開発

学生募集中：

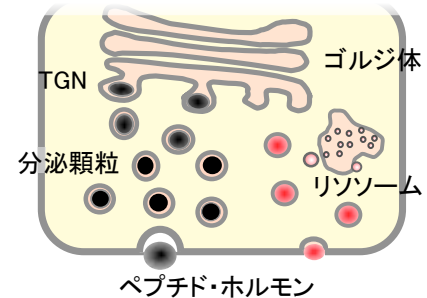
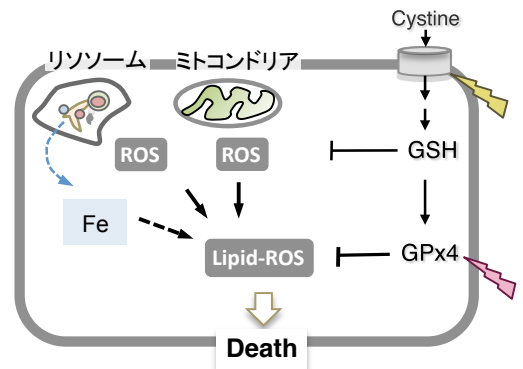
当研究室は、医学部出身だけでなく理工学部、
教育学部、留学生など様々な学生の卒業実績
があります。社会人学生も受け入れています。
一人一人のバックグラウンドに合わせて研究
テーマを決めます。アルバイトも可能です。
研究室見学はいつでもOK! まずはお気軽
にお尋ねください。



コントロール



抗がん剤による
フェロトーシス



入学案内等：
大学院は、生命医科学(修士課程)と 医科学専攻
(博士課程) があります。その他の情報については
ウェブサイト「研究所で研究するには」
http://www.imcr.gunma-u.ac.jp/?page_id=142
に詳しく出ています。

場所： 生体調節研究所 1階 B-109
連絡先： 鳥居 征司 (Seiji Torii)
storii(アット)gunma-u.ac.jp
website： <http://secret-biol.imcr.gunma-u.ac.jp/>